

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価 計画

学校名	鹿島市立明倫小学校
------------	------------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・保護者アンケートからは、本校の教育活動に対しておおむね良好な評価を受けている。児童や保護者への対応についても評価が高く、何に対しても「ていねいに」「すばやく」対応する姿勢で教育活動に取り組んでいる成果が出ているものと思われる。T T 授業や少人数指導の工夫が保護者に伝わっていない。どのように理解、啓発を求めていくかが今後の課題である。</p> <p>・C S (学校運営協議会)の協力を得て、児童は安全に安心して地域で過ごすことができた。地域の人材を生かした活動として、今年度も面浮立の面づくりに取り組めた。しかし、地域の人材を生かした学習に学年や学級によって偏りも見られたため、年度当初に、担当者と学年担任と連携して計画を立てる必要がある。今後も、児童に地域の文化や良さを理解させるために、地域人材を有効に活用していきたい。</p> <p>・気になる子、家庭環境の不安な子などに対して、職員は児童理解を深め、組織的に対応するように努力した。個別に対応が必要なケースが徐々に増えてきているので、S CやS S Wも交えたケース会議を行い、鹿島市の福祉課や民生児童委員とも連携して対応していきたい。</p> <p>・学校運営協議会員による外部評価では、具体的な説明を行わなかったためのように評価した方がよいか戸惑われた方があった。協議会の中で目標、方策、成果について十分な説明をしていく必要がある。</p>
--------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 学校教育目標	「いい顔 いい声 いい動き」
-----------------	-----------------------

3 本年度の重点目標	<p>気づき・動く ～気づき 行動(活動)する 明倫っ子の育成～</p> <p>①学級経営の充実 ②確かな学力の向上 ③豊かな心の育成 ④特別支援教育の充実 ⑤ふるさと大好きっ子の育成 ⑥家庭・地域との連携</p>
-------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目

重点取組	重点取組		具体的取組
	評価項目	取組内容	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランについて共通理解するとともに、授業研究会やスキルアップ研修等で取組の促進を図る。
	○基礎的、基本的な知識・技能の定着に向けた授業の実践	○自分の考えを書きことができる児童を80%以上にする。	・「授業づくり1・2・3Vol.2」を踏まえ、書く活動を設定する。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○心のアンケートで肯定的な回答をした児童を80%以上にする。	・道徳教育の充実をはかり、「ふれあい道徳」を授業参観日に行う。 ・心のアンケートの実施。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○生活アンケートで「いじめられた」と感じる子供を10%以下にする。	・QUテストを実施し、機能的活用を行う。 ・学校全体で対応できる体制を作る。
	○仲間とのつながりを深める特別活動の充実	○仲間とつながり協力できる児童を80%以上にする。	・学級があたため居場所となるような取り組みの工夫及び実践の紹介。 ・たてわり活動による異学年交流の促進。 ・行事において、児童が互いに協力しながら活動し、仲間とのつながりを深められる場の設定。
●健康・体づくり	◎夢や希望を持ち、その実現に向けて努力しようとするための教育活動	◎自分の夢や目標に向かって努力している児童を70%以上にする。	・キャリアパスポートを活用し、時々生活振り返らせる。 ・地域の人・物・事を活用した体験活動を設定する。
	次の中から1つ以上を選択 ●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい生活習慣の形成」	○授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒70%以上にする。 ○「健康には生活習慣を整えることが大切である」と考える児童70%以上にする。	・運動に親しむことで体力向上が図れるような魅力的な体育授業の実践をめざす。 ・食育や保健体育、特活等の学習を通して生活習慣を整えることの大切さの理解と啓発を図る。 ・生活習慣に関するアンケートの実施。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日(毎週金曜日18時)を設定し、時間外勤務の削減を図る。 ・「時間外勤務時間目標30時間」の月を年間3回設定する。
	○元気いっぱいプロジェクトの実施により校務等の効率化の促進	○3つの施策(教師の専門性を高める、子どもと向き合う時間の確保、働きやすい環境づくり)により業務を改善し、教職員の意識改革を図る。	・職員意見を聞く場の設定し、職場環境の充実を子どものゆとりある学校生活を送ることにつなげる。 ・学校運営協議会との意見交換。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組	重点取組		具体的取組
	評価項目	取組内容	
○開かれた学校づくり	○特別な支援を要する児童への開発的生徒指導の充実	○支援を必要とする児童への支援体制の充実	・職員研修の充実や専門機関との連携 ・児童の実態把握と、すみやかな対応(ABC分析シートの活用、保護者面談やケース会議の開催)
	○外部評価の結果を公表し、改善に向けた取組み		・地域人材を活用した体験的活動を各学年、年間1回は実践をする。 ・学校運営協議会での評価内容の検討・改善を行う。 ・地域へ学校便りの配布 ・地域人材を活用した教育活動

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育